

室を機会にボーイスカウトに興味を待たれ、入団につながった御家族もあります。

入団者が減少している昨今、公的機関への事業協力を機会に広くボーイスカウト活動を地域の方々に知っ

てもらふチャンスと捉え、これからも継続して参りたいと考えています。

市原第3団

地域の方との交流「ふるさと苑」訪問



私達、市原第3団は毎年、市原市能満にある特別養護老人ホーム「ふるさと苑」を訪問しています。3団の野営場のすぐ近くにあり、緑に囲まれた老人ホームです。その年により、ビーバースカウト隊からローバースカウト隊まで参加する年もありますが、今年は市原第1、3団のカブスカウト隊、3団のボーイスカウト隊、そして双方のリーダーを含め総勢13人で訪問しました。

今回は「桃太郎」の劇を創作し、合同組集会で練習を重ね、当日は各自お面や衣装を身に着けて発表しました。利用者のみなさんは、司会をしてくれたボーイスカウト、まだ可愛いカブスカウト達の発表を見てとても喜んでいました。私達も利用者のみなさんの笑顔に触れる事が出来、嬉しかったです。

これからも地域の方々との触れ合いを大切にしながらボーイスカウト



(2017年12月 地区協議会での発表)

活動を続けていきたいと思ひます。

昨年12月の地区協議会では、平成29年のふるさと苑訪問の様子を地区のみなさんにも見ていただきました。演題は「サザエさん大喜利」で、音楽劇として発表しました。



ヒロキ (ローバースカウト 山本開生)

市原第5団

花プロジェクト「春よ来い」

市原第5団は、大自然に囲まれ野外活動を行うには、とても恵まれている環境のところ。毎年9月に地域活性化を目的に実施されている、市原市主催の花プロジェクトに地域の方やボランティア団体の方と一緒に参加をさせていただいています。

上総牛久駅周辺の小湊鉄道の沿線にて千葉県の花である菜の花の種撒きを行っています。手作りの種まき



用ペットボトルを使用してマラカスの様に振って底に空いている穴から少しずつ種を撒いていきます。

スカウトの中には、丁寧に種を撒く子、ペットボトルから種を出して、手で豪快に撒く子がいましたが、みんなの思いは一緒に来春に咲く一面黄色いじゅうたんの様な菜の花が沢山咲くことを思い描きながら、楽しく活動をしています。

来春には、沢山の人がこの上総牛久の地へ足を運んでくれることを楽しみに今後も活動をしていきます。

(カブスカウト隊長 杉田 香織)

市原第6団

ボーイスカウト隊の奉仕活動

私たち市原第6団ボーイスカウト隊は、対外奉仕活動として「特別養護老人ホーム市原園」への慰問を継続して行っています。



市原園への慰問を始めたきっかけは、平成3年に隊集会でキャンプをした際にプログラムの1つとして



キャンプ地の隣にあった特別養護老人ホームの奉仕活動を実施したこと

です。これをきっかけに慰問が始まり、これまで27年間奉仕活動を続けています。

市原園では職員が非常に少なく、普段入居者の方が外出することはできません。そのため、晴れた日は私たちスカウトが入居者の車イスを押し、敷地内にある「身代わり地藏」まで散歩をしたり、車イスに乗ったままでもできるゲームを考え、実施したりしています。

また、天気の悪い日や肌寒い日などは、室内で入居者の方々と一緒に童謡を歌ったりスカウトがスタンツを考えて披露したりするなど、少しでも皆さんに楽しんでいただけるよう、工夫をしています。



「スカウトは親切である」。このようなおきてがあるように、これからも人の役に立てるよう、精一杯頑

張っていきたいと思います。
(ボーイスカウト隊 高橋 彩佳)

市原第7団

ケアハウス「日夕苑」での交流



を観ていただくのではなく、一緒に楽しめたり、ふれあえたりするもの

スカウト達が地域と繋がる活動は様々ありますが、今回はビーバースカウト隊が、年1回交流させていただいている「日夕苑」での活動を紹介させていただきます。

この交流会は20年以上の歴史があります。以前は、1月の中旬に施設を訪問し、前月の団クリスマス会で演じた合唱や踊り、劇などを披露することで楽しんでもらう形でした。しかし、3年前に施設からの要望があり、流感などの心配が少ない6月に会を設けることとなりました。それに合わせ、こちらが発表するもの



にしようと、高齢の方でも参加できるゲームや手遊び歌を中心とした内容に変更しました。

毎年恒例のボーリングゲームでは、最初は遠慮して見ているだけと言っていた方が盛り上がるゲーム展開に「やってみよう」と参加して下さる時もあり、スカウト達と一緒に笑顔で楽しんで下さる様子に、私達も

活力をもらいます。

スカウト達に、この活動の感想を聞くと「喜んでくれたのが嬉しかった」や「嬉しそうだったのが良かった」などと答えます。

【自分の行いが相手に喜ばれる】という温かい気持ちがスカウト達の心の基盤に染み込み、成長する糧になるのだと、この日々苑での活動のた

びに思います。そして、周りの方々(社会)に育てていただいているのだという感謝の気持ちがあふれてくるのです。今後も途切れることなくこの交流が続くように、スカウト達と共に楽しい活動をしていきたいと思っています。

(ビーバースカウト隊長 小西 啓子)

茂原第2団

地域での奉仕活動を紹介します



でふだん活動していることをそのまま地域に還元できるのはありがたいことです。

茂原第2団のエリアはまわりの市町村も含めかなり広いので、これからも多くの人たちと関わっていきたいと思います。

毎年7月最後の金～日曜日が茂原七夕まつりです。土曜日の午後は駅前募金活動をしていますので、ぜひ遊びに来てください！

茂原第2団が毎年継続して行っているものは、茂原市のごみゼロ運動への参加、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金、老人保健施設訪問、福祉センター主催のイベントに参加、七夕まつり募金などです。

特に七夕まつりは茂原市では大きなイベントです。ライオンズクラブの主催で、多くの方が訪れる駅前でも毎年同じ時間帯に募金を行っておりますので、学校の友だちが協力してくれたり、以前一緒にボーイスカウト活動していた人たち、また他の地域でボーイスカウトをしている人などが声をかけてくれたりと、久しぶりの再会などのうれしいこともあります。

また、地元の青年会議所が募集して行く小学生のキャンプの支援に行くこともあります。ボーイスカウト



東金第1団

山武市と東金市で活動しています

東金第1団では、ユニセフ募金や歳末助け合い募金などの募金活動やスカウトデーの清掃活動等を継続してまいりました。その他の活動としてビーバースカウト隊による老人ケアセンターへの慰問、カブスカウト隊による九十九里海岸の植樹や清掃活動についてご紹介します。



◇ビーバースカウト隊

今年7月8日に東金市内の老人ケアセンターを訪問しました。毎年恒例となっていてお年寄りの皆さんが集まっておられる前でスカウトソングである「はしれビーバー」や「かえるのうた」「うみ」「たなばたさま」など6曲を歌いました。

皆さんも一緒に歌われて練習ではあまり声が出せていなかったスカウトも大きな声で歌いました。終わり



に作っておいた「折りヅル」など折り紙を小さな手からお一人ずつへプレゼント。また来年も来ますとお別れました。短い時間でしたがスカウトたちはお年寄りから優しい御心を感じたのではと思います。

(ビーバースカウト隊長 山下 博行)

◇カブスカウト隊

私たち東金第1団カブスカウト隊では、3月に開催される「さんむスプリングフェスタ」植樹祭への参加と、九十九里海岸の「ゴミ拾いハイキング」を行っています。

「さんむスプリングフェスタ」植樹祭は、東日本大震災の津波で被害を受けた防風林の再生を行うために開催され、東金第1団カブスカウト隊は2016年から毎年参加しています。「奉仕活動」「ボーイスカウト活動のアピール」「自分たちの植えた樹木が、子供達、孫達に残せる」と、一石三鳥位の効果が見込まれ、今年で3回目となりました。植樹中には、市の広報の方が写真を撮りに来てくれた



り、一般の方が声をかけてくれたり、スカウト達も嬉しいようです。

九十九里海岸の「ゴミ拾いハイキング」は、海岸のゴミを拾いながら歩き、ゴールした時に沢山拾った組が勝ちというルールで行っています。プラスチックゴミが問題視されていますが、「こんなに？」と言ってしまふほどの量を集めてしまいます。残念ながら現実です。この現実を体験したスカウト達は、海を汚さないようにして欲しいと思います。

(カブスカウト隊長 小高 功晴)



大網白里第1団

地域への奉仕活動の報告

大網白里第1団が行っている地域への奉仕活動としては、献血の呼び掛け、年末や災害発生時の募金活動、幼稚園運動会の駐車場係、いきいき市民大学受付等があります。この中

から6年間行っているいきいき市民大学（以下市民大学と言う）受付奉仕について紹介させていただきます。

市民大学というのは、大網白里市生涯学習課が主催で年5回の定期開

催し、各界著名人を講師として講演が行われます。年間申し込みは2000円ですが、当日だけの受講も700円で受講することができます。市民大学で私たちの団が行っている

奉仕ですが、ビーバー・カブスカウトが主に行っています。

その内容は、約200人の受講生が持参した受講票に出席のスタンプを押し、出席名簿に丸印をつけること、当日の資料を配布することです。

何度かこの奉仕作業を体験しているカブスカウトは手慣れたものとなっていますが、ビーバースカウト達のフォローはボーイスカウトまたはリーダーが行います。

この奉仕作業を通じて市の担当者からは「年配の参加者が多数のなかで、小さなスカウト達が頑張ってくれていると会場の雰囲気が和やかになりとても受講生から好評を得ています。」とのコメントを頂いており、市長からも開講式などでは激励と感謝の言葉を頂いています。

指導者としては「公共の場で多くの人と接することにより、マナーや言葉遣いを学ぶ場としていきたい。」と考えています。また、不慣れなビーバースカウトが作業に時間を要しても受講生である市民の方々からは「大丈夫、ゆっくりでいいよ。」等の温かい言葉を頂いております。スカウト活動及び、子供の教育は社会全体で行うものであることを実感する場面です。

ビーバースカウトの感想として、



「○をつけるのが楽しい」、「きょうはしらない人にほめられてうれしかった」。

カブスカウトからは「俺たち、もう慣れているから余裕!」、「受付はめんどくさいけど、まー俺たちの仕事だし」

団委員からは「市民に団の活動をPRする場となっている」、「奉仕活動の様子が市広報紙に掲載してもらえた」、等の感想を受けています。

奉仕を行った団関係者は受付終了後、無料で受講することができます。29年5月27日の「漢字を用いた命の授業が大人気」のお笑い芸人のゴルゴ松本さんの会では、受付終了後

に、カブスカウトとビーバースカウト各1人が受講しました。講義の進行に合わせスカウトに沢山の声掛けをして頂き、終了時には壇上に招かれ紹介して頂くとともに握手までして貰いました。

この様に、社会奉仕活動は様々な点からの意味合い深い活動だと考えます。しかしながら多数回の奉仕を定期的に行う事は、年間プログラム上で活動のマンネリ化をきたす等の影響を生じる可能性があります。現在の我が団の課題として奉仕活動終了後に何らかの活動(ミニ工作、簡単にできる畑の手入れ等)を追加してマンネリ化防止を検討しています。

第7回上総地区ベンチャー(7KV)について

まず上総地区ベンチャーについて簡単にご紹介いたします。上総地区のK、ベンチャースカウトのVの頭文字で、【KV】と略す時もあります。上総地区内各団のベンチャースカウト隊の活動がスカウト数の減少もあり、地区全体でベンチャースカウトらしい活動が出来たらという指導者たちの思いからこのKVは始まりました。ほぼ毎年開催しています。今年も第8回の上総地区ベンチャーが議長を中心に既に活動が始まっています。

7KVは一つのプロジェクトとなっています。まず立ち上げで議長、副議長、書記、会計等を決めた

後、会議ではスカウトたちは何をしたいのか、前年度実施した6KVの反省も踏まえ【普段のキャンプで出来ないことを体験し、スカウトスキルの向上と共に、KVの絆を深める】がこのKVの目的となりました。そしてその活動の進むべき方向や、どのように具体化していくか等々、これらについて地区内各団のスカウトたちは役割分担をして、忙しいスケジュールの中集まって、少しずつですが、まとめて行きました。

これが、ビーバースカウト隊の活動であれば、スカウトたちが何をしたいか、遊びたいことは何かを指導者がくみ取ってプログラムを決めて



隊集会で行っていくわけですが、ベンチャースカウトでは自分たちで決めたことを実施して、評価をして良かったところ、うまく行かなかったところをそれぞれの役割に応じて、次のステップに結び付けていきます。

そして、いよいよ実施です。今年の春3月25日～28日の3泊4日の7KVを静岡県南伊豆町でキャンプを実施しました。設営から始まり、釣り、カヤック体験、釣った魚をさばいて各種の料理に活かし、海沿いのハイキングでは上って降りて上って降りての繰り返しで約5時間、海と山の絶景を満喫し、汗を温泉で流し、夕日が沈む時には一刻一刻変わる空を心に刻み、そして最終日撤営です。帰宅後はご家族とキャンプの話題に花が咲いたことと思います。

観光旅行と違うところは、記録だけにとどまらず、キャンプから帰っ



てきて、良かったところ、失敗してしまったところ、それぞれ自分の担当したところや気が付いた点について話し合い、次の活動につなげていくところにあります。この結果、「スパイラル・アップ」していくこととなります。

この3年間は上総地区の東部と西部をそれぞれ海岸と称して東海岸、西海岸での成果を発表する報告会を実施しています。それぞれ6月23、24日に開催しました。スカウトたちは自分たちの活動を発表するために事前準備をして報告会を開催します。これらの報告会は今後も開催していこうと思いますので、多くのボーイスカウトやカブスカウト、特にビバースカウト年代、カブスカウト年

代の保護者の方たちにも大勢参加していただき、ベンチャースカウトの活動の理解と応援をしていただきたいと思います。

最後に活動を支えていただいた指導者、関係者の方たちに感謝申し上げます。

ありがとうございました。
(担当副コミッショナー 阿久津 滋男)



(2018年6月 7KV報告会)

日本ボーイスカウト千葉県連盟上総地区 <http://bs-kazusa.jp/>

千葉県内にはボーイスカウトの101の団があり、5,262人（平成30年4月現在）が活動しています。また、県内を11地区に分け、我が上総地区もこの11の地区の一つです。上総地区には8個の団が所属しています。

団名	活動地域	入団等問合せ先	電話番号
市原第1団	市原市八幡宿、五井周辺	田中 秀近	0436-21-3840
市原第3団	市原市国分寺台周辺	牛田 智子	0436-36-7747
市原第5団	市原市牛久周辺	山内 憲章	0436-92-0105
市原第6団	市原市辰巳台 ちはら台周辺	齋藤 敏子	0436-75-0392
市原第7団	市原市姉崎周辺	菊池 由紀	0436-62-4004
茂原第2団	茂原市、長生郡周辺	青木 勇	0475-23-9239
東金第1団	東金市、山武市、山武郡周辺	山下 すみ江	0479-80-8551
大網白里第1団	大網白里市周辺	奥貫 誠	0475-72-7988